資料２

歩道上の自転車駐車場設置や自転車走行レーン設置など

自転車利用環境向上施策

【施策の概要】

既存の道路空間を有効活用し、歩道上の自転車駐車場や、歩行者と自転車の分離、自転車の通行帯の確保などに取り組みます。

【実験概要】

宮城県仙台市：杜の都のまちなか自転車走行実験

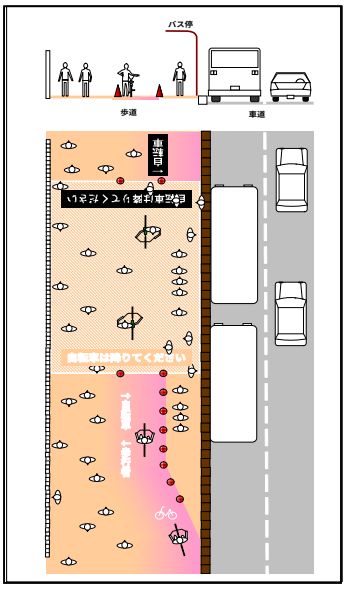
仙台市中心部において、極めて歩行者の多い歩道内で、歩行者と自転車の分離を促す路面表示等を試行するとともに、細街路において自転車レーンを設置する。

【実験予定時期：平成１８年１０月頃】



実験１：「ゆっくり走行路線」を安全にする実験

内容：バス停付近など歩行者が極めて多い歩道における、自転車と歩行者の錯綜を可能な限り避けるため、路面表示などによる誘導手法を様々なパターンで実験し検討する。



実験２：その他の路線を走りやすくする実験

内容：細街路について、自転車が多い時間帯に、パーキングメーターなどを利用した自転車通行帯を設置し、自転車が安全・円滑に走行できるか実験する。自転車通行帯と車道との分離方法については、いくつかのパターンを検討する。

※　対象エリア内において、モデル路線を選定し、実験を実施する。